

高校合唱部が函館合唱連盟創立 60 周年 記念演奏会に出演しました！！

6月7日（日）14:00 から函館市芸術ホールで函館合唱連盟創立60周年記念演奏会が開催され、本校から合唱部の生徒8名と顧問の白須先生が参加されました。「男声、女声、少年少女、混声」の4部構成で合唱が披露され、遺愛は女声合唱に出演し、「花」「サボテンの花」「ハナミズキ」「リンゴ追分」「世界に一つだけの花」「赤いスイートピー」をメドレーで歌い上げ、女声ならではのとても美しい演奏でした。最後に出演者約200人全員が登壇し、『ソルヴェイグの歌』を大合唱しましたが、合唱の素晴らしさを再認識しました。

演奏会でいただいたパンフレットに、本校で囑託として吹奏楽局の指導をお手伝いして下さっている宍戸雄一先生（函館音楽協会会長）が祝辞を寄せていました。そのなかで函館が「日本合唱発祥の地」と言われており、函館の合唱の発展に、遺愛の礼拝がプラスに影響していたのではないかと書かれていました。『北海道音楽史』（前川久美夫著）に、明治40年頃遺愛女学校で寮生活を送った卒業生が「礼拝の時など、女声四部合唱がいつも歌えた。5,6人集まるとすぐに四部になりました。なんて素晴らしいんだろうと、音楽に魅せられました。」と当時を思い出して語った文章が載っていたそうです。アメリカ人宣教師から直接、西洋の音楽（合唱）を学ぶ環境に遺愛があり、遺愛の卒業生達が函館の合唱の発展に少なからず寄与したことは想像に難くないと思われます。

今も、遺愛の朝の礼拝では美しいハーモニーが聞こえてきます。また、7月10日（金）には校内合唱コンクールが開催されますが、中間テスト後のこれからは朝、昼休み、放課後のホームルームあるいは廊下から美しい歌声が聞こえてくるでしょう。

2015年6月8日（月）



合唱部